



祝 開院8年を迎えて 特別号

コロナ禍で迎えた8年目

そらいろこどもクリニックに通院してくださっている皆様、いつも本当にありがとうございます。心から心から感謝いたします。おかげさまで大きな事故もなく無事に8年目を迎えることができました。笑顔で元気に働いてくれるスタッフにも恵まれ、毎日忙しくも楽しく充実した日々を送ることができてとても幸せです。さて9月になりますが、残念ながら昨年に引き続き、毎年恒例だったそらいろこどもまつりは開催できそうにありません。重症もいれば軽症もいるCOVID-19ですが、その人数だけみればうなぎ上り。重症者が入院出来ず医療崩壊が叫ばれる中で、私たちが出来ることを常に考え診療にあたっております。

その① 一般診療を継続しお子さんたちの健康を守りたいです
予防接種やアレルギー疾患、感冒時の対応を継続しています。

発熱の方と導線なるべく分けることで、安心して来院できるようにしたいと考えています。

最近では心の相談を受けることが多くなってきました。長く話をすることが出来ず心苦しいこともあります。お子さんとご家族に寄り添いながら一緒に考えていきたいです。

このご時世で緊張感で診療しながらも、いつもの子ども達の顔を見たり話をしたりすることが出来るというのは有難いことで、沢山のパワーを頂いています。いつもありがとうございます

その② 地域の発熱患者さんを診察しています

小児科では、COVID-19が流行する前から半分以上が感染症（発熱の方）だったのですが、空間と時間をわけて短時間で診察することにより、感染に気を付けながら診療を継続しています。これからも地域のクリニックとして対応できることはしていきたいと考えています。

その③ コロナワクチンを接種しています

コロナワクチン接種が始まると同時に、見切り発車で突入しました。

もともと小児科は内科より多数のワクチンに対応しているため、予約の大変さ以外はスムーズにできていると思います。

一時ワクチンの供給が滞り、どのクリニックもキャンセル延期で大変な状況でしたが、できる限り今後も接種を継続していきたいと考えています。

来年にはたくさんのプレゼントを用意して、そらいろこどもまつりができる状況になっていることを祈りつつ…。

これからもどうぞよろしくお願ひいたします。

院長 柳内 聖香



今月の絵本

夕あかりの国 アスリッド・リングドレーン 文 マリット・テルクヴィスト 絵 石井 登志子 訳

寝たきりだった男の子が「夕あかりの国」のリリオンクバストさんと繰り広げる不思議な物語。空想なのか現実なのかは想像にお任せしますが、いつだって空を飛べる男の子はきっと幸せなはず。 「足がわるくても、ぜんぜんへいき。だって夕あかりの国では、だれでも歩いたり、とんだりできるんだからね」・・・こんな風に私も生きたいです…。

(記事：院長 柳内)

クリニックの
本棚にあるよ♪



お知らせ

コロナワクチンの接種については、当院のホームページにてお知らせしています。また、コロナワクチン関連のお問い合わせなどは専用電話を設置していますので、そちらをご利用ください。

(携帯電話 070-2280-1397)



次回もおたのしみに～